

2017年7月25日



草津総合病院
イメージキャラクター
くさまる

若い世代から撮影できる 『痛みのない乳房自動超音波スキャナ』導入

現在の乳がん検診は40歳以上の女性を対象にマンモグラフィ（MMG）による検診をおこなっています。住民検診でMMG検査によって死亡率の減少が確認されたからです。しかし、若年者ではMMGが苦手とする高濃度乳腺が多いため、見落とし（false negative）が問題でした。先ほど報告された40代女性にMMG検診に乳房超音波検査を追加した臨床試験（J-START）では癌の発見率は1.5倍になり、乳房超音波検査に期待が集まっています。

この度、草津総合病院では乳房自動超音波スキャナ（HITACHI社製 Sofia）を導入しました。本装置は欧米にて先行的に乳がん検診において使用され、日本では最近薬事申請が通った最も先進的な乳房自動超音波装置です。

[今までの装置との違い]

- ・日本で初めての腹臥位撮影
- ・スキャン時間が片側約1分と非常にスピーディー
- ・乳がん検診におけるスクリーニングに非常に適している装置

つきましては、当院の取り組みをご理解をいただき、ぜひ貴媒体にて取材をお願いいたくご案内申し上げます。



乳房自動超音波スキャナ（HITACHI社製 Sofia）

<本件のお問い合わせ先>

草津総合病院 総務係 担当：藤本路子 林由香梨
〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町 1660
電話：077-563-8866(代表) FAX：077-565-9311
E-mail tyousei@kusatsu-gh.or.jp